

星ヶ丘医療センター 地域協議会での意見及び対応（反映）状況			
開催日	委員属性	委員からの意見	対応（反映）状況
H26. 7. 31	利用者	地域住民が行っているラジオ体操の実施場所として今後も病院駐車場の提供を継続してもらいたい。	当院の場所提供までは、40名程度の参加者であったが、現在は60～70名程度の参加者となっている。
H26. 8 (直接依頼)	利用者	校区で行う予定にしている単身高齢者のかぎの預かり事業を行うに際し、当院で鍵の保管場所として検討してもらえないか。	鍵の預かり場所として、H28年1月に協定書を交わし、協力体制を整えた。
H27. 6. 2	医師会	協議会委員の追加の検討をしてはどうか。	当院が所在する地区の管轄をしている地域包括支援センターへ依頼をしており、H28年度より参加してもらうこととした。
H27. 6. 2	利用者	医療機関の機能分化の推進にあたり、住民に対する啓発活動が必要である。そうした講座を当院でも開催してもらいたい。	平成27年7月7日に地元住民向けに「医療機関のかかり方」について出前講座（校区内集会所）を開催した。
H28. 1. 21	行政	交野市が施行する健康ポイント制の健康施策についての協力をお願いしたい。健康診断が健康ポイントの対象となるため、当院での受診希望があれば受入頂きたい。	ポイント付与の対象となる健康診断を当院でも積極的に受け入れる方針で周知した。
H28. 1. 21	利用者	出前講座を継続してもらいたい。	H28年4月に地元住民向けに介護保険に関する出前講座を開催した。
H28. 7. 7	関係する 医療・介護機関	元気な高齢者を増やすコンセプトで、公開講座を検討しているが、講師の派遣をお願いしたい。	H29. 1地域包括支援センターが主催する健康講座に医師を派遣した。
H28. 7. 7	医師会	病院とかかりつけ医の役割について理解していない住民も多いため、住民を対象として話をする機会を作ってはどうか。	H29. 1の住民を対象とした介護イベントに医療に関する個別相談ブースを出店した。 H29. 11の同介護イベントにかかりつけ医を持つことのメリットについてパネリストとして職員を派遣した。
H28. 7. 7	行政	認知症に関する啓発のための冊子を作成したので、配布に協力いただきたい。	院内に配布コーナーを設置して、協力した。
H28. 7. 7	医師会	診療所からの当日緊急受診患者の相談を看護師が窓口として素早く対応してもらって助かっている。今後も継続をお願いしたい。	継続して運用するとともに体制強化を図っている。

H29. 1. 26	利用者	車で正面玄関に送迎した際の昇降場所がわかりにくいと聞いている。是正をお願いしたい。	玄関の警備員が案内をスムーズにできるよう体制を調整した。
H29. 1. 26	関係する 医療・介護機関	地域包括ケア支援センターが主催する元気づくり・地域づくり会議の講座の中で、医療機関のかかり方や介護保険について講演いただきたい。	2018年8月に元気づくり・地域づくり会議へ講師を派遣し、「医療機関の上手なかかり方」を題目として、講演を行った。
H29. 7. 13	利用者	地域で老人大学の開設を検討しているが、施設利用や講師等の派遣をお願いしたい。	年2回程度地域からの依頼を受け、出前講座を定期的に開催している。
H29. 7. 13	行政	認知症に関する啓発のための冊子の第2版を作成したので、継続して配布に協力いただきたい。	院内に配布コーナーを設置して、今後も継続的に協力している。
H29. 7. 13	利用者	洋式トイレが少ないため、増設してもらいたい。	外来患者の頻度の高いトイレをH30年4月に洋式改修を行った。
H30. 7. 26	関係する 医療・介護機関	2018年の介護報酬改定において、医介連携強化のため主治医に意見を求めた患者について担当ケアマネジャーが居宅サービス計画書を医療機関へ提出する事が求められている。院内への周知と提出場所の一本化ができれば大変ありがたい。	2018年8月より当院での窓口を一本化するとともに関係機関に案内文も郵送し、周知を図る。また同時に院内にも周知を行う。
H30. 7. 26	利用者	枚方市役所と当院が合同で開催する災害訓練において、地域の自主防災の訓練の一環として、住民・地域包括ケア支援センター職員にも見学させてもらいたい。	2018年12月の合同災害訓練のうち、一時トリアージを中心に住民および地域包括ケア支援センター職員に見学をしてもらい、災害時の負傷者への対応方法を知りきっかけになったと好評をいただいた。